

3762

TechMatrix

株主優待

割当基準日9月末日

①商品

②寄付

①または②のいずれかを選択

1,500円相当 (500株以上)
4,000円相当 (1,000株以上)

※①は下記の中から選択（商品は毎年見直し）

500株以上：・静岡茶詰め合わせ

・北海道 鮭三昧
・帝国ホテル カレーセット
・ひととえ 黒わらび餅
・マルトモ フリーズドライギフト

1,000株以上：・松阪牛すき焼用

・デミグラスハンバーグ
・いくら醤油漬け
・神戸スイーツ 牧場アイスクリーム
・三本珈琲 有機栽培ドリップコーヒー



1,500円相当の商品例

4,000円相当の商品例

※②は「公益財団法人 日本ユニセフ協会」「一般財団法人 あしなが育英会」から選択

「より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団」として

最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」、患者と医師、家族と地域社会を結ぶ医療環境づくりを目指す「医療システム事業」、蓄積されたノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」の3事業を展開し、より良い未来の創造に貢献するITのプロフェッショナル集団として、企業のビジネスモデル変革と企業競争力の強化を支援しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、ITの重要性が改めて認識され、今やITは社会インフラとして、そのセキュリティ対策へのニーズもますます高まっています。急激に世の中の構造が変化の中で、安心・安全を提供するサイバーセキュリティ技術や、社会に必要とされるIT製品・サービスを提供し続けていきます。

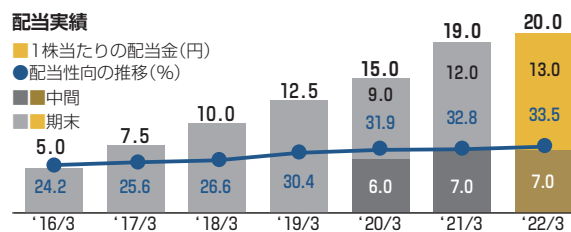
売上高・営業利益ともに成長を継続！

◆売上高（売上収益）は **20期連続増収**

◆営業利益・経常利益（税引前利益）・当期純利益（親会社の所有者に帰属する当期利益）において **7期連続増益**

◆利益配分に関する基本方針

株主への利益還元を重要課題と位置付ける当社では、配当政策として、期末業績における連結配当性向20%以上を基本方針としています。今後も安定・継続した配当の実施を目指します。



※過年度の株式分割を考慮して表示しています

投資家の皆さまへ



代表取締役社長
ゆり たかし
由利 孝

当社は、2021年5月に「デジタル化を支える情報基盤・技術・サービスの提供」と「『Best Practice』を誰にも使いやすいUX（ユーザ体験）を通してクラウド型で提供すること」を事業の柱とした、新中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」を発表し、順調に進捗しています。2年目となる今期には、事業統合や本社移転の影響も踏まえつつ、さらなる成長を目指す計画の見直しも行いました。引き続き、デジタル化への急激なシフトと産業構造の変化を成長機会と捉え、今後の社会にとって必要不可欠な領域に向けて事業を加速し、持続可能な社会の創造に貢献してまいります。

会社プロフィール

1984年、ニチメン(株)（現・双日(株)）の営業部門の戦略子会社としてニチメンデータシステム(株)設立。2000年、ニチメンが全保有株式をITX(株)に売却、ITXの連結対象子会社となる。同年、テクマトリックス(株)に商号変更。2005年、ジャスダックに上場。2010年、東証2部に上場。2013年、東証1部に指定。2015年より、支配的な株主は有さず。2018年より医療システム事業を分社化。M&A等を経て、現在医療システム事業はグループ会社3社と合併会社1社で推進。同年より、「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に選定。2021年8月、「DX認定事業者」の認定を取得。

株価

1,731
円

2022.8.31
終値

優待品
換算金額

1,500
円

通期

1株当たり
配当金

21.0
円

2023.3 (予)

配当
利回り

1.2
%

2023.3 (予)

割当
基準日

9月末日

市場

東証
プライム

NET-IR





DATA (2022年3月末日現在)

- 設立: 1984年8月
- 資本金: 1,298百万円
- 市場: 東証プライム
- 決算月: 3月
- 発行済株式数: 44,518千株
- 従業員数: 1,502人

3762 テクマトリックス

■お問い合わせ先 *2022年11月23日まで: 〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル

〒108-8588 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス*

テクマトリックス(株) 経営企画部 経営企画課

TEL.03-4405-7802 <https://www.techmatrix.co.jp/>

3つの事業領域とSDGsの取り組み

情報基盤事業



デジタル化社会を支える社会インフラとして、安心・安全を確保するセキュアな情報基盤・セキュリティ製品・サービスを提供



ターゲット

地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラの開発（セキュアなネットワーク環境の構築支援）

生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性およびイノベーションを支援する開発重視型の政策の促進（コンタクトセンター業務の効率化）

全ての子どもに適切で効果的な学習成果をもたらし、質の高い初等・中等教育を修了できる環境の提供（教育プラットフォームシステム）

雇用、働きがいのある仕事や起業に必要な技術的・職業的スキルを備えた人の割合の増加（IT技術者の教育研修）

世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングの改善およびこうした規制の実施の強化（ビジネスソリューション金融サービス）

世界の道路交通事故による死傷者を半減（未来型自動車の開発支援）

質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス（医療情報クラウドサービス/PHRサービス/遠隔読影サービス/線量管理クラウドサービス）

アプリケーション・サービス事業



誰にも使いやすいUI/UXを通して、クラウド型業務アプリケーションを提供



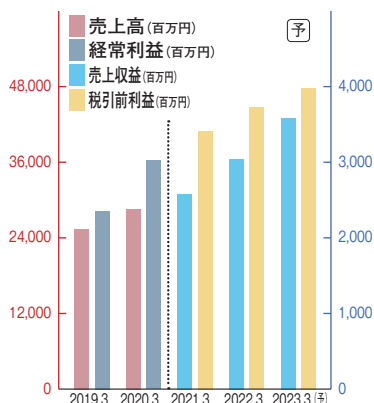
医療システム事業



生活者一人ひとりの一生を支える医療情報インフラの構築を目指し、アプリケーションやサービスを提供



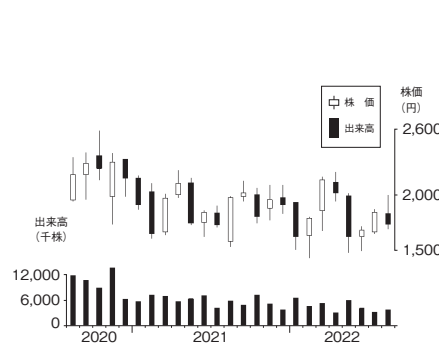
業績（連結）



決算期	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3(予)
売上高(百万円)	25,418	28,553	-	-	-
売上収益(百万円)	-	-	30,928	36,513	43,000
経常利益(百万円)	2,352	3,018	-	-	-
税引前利益(百万円)	-	-	3,406	3,718	3,970
1株当たり利益(円)	41.0	47.0	57.9	59.6	63.6
1株当たり配当金(円)	12.5	15.0	19.0	20.0	21.0

(満) 2018年7月5日、2,500千株 (分) 2020年7月1日、1:2
 ※1株当たり利益、1株当たり配当金は、2020年7月1日の株式分割が2019年3月期の期首に行われたと仮定し算出
 ※2021年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用
 ※2023年3月期の予想値は、2022年7月29日の公表値

株価チャート（月足）



※最新の株価については [net-ir \(www.net-ir.ne.jp\)](https://www.net-ir.ne.jp/) でご確認ください。